

修了評価の方法、評価者、再履修等の基準（渋谷校）

自宅学習における添削課題の成績表は提出日の翌講義日にて返却。

添削課題については、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、

その研修回において該当科目を担当する講師がA、B、C、Dの評価を行う。

評価がC以上の者を合格とする。評価基準（100点を満点とする）

（A＝90点以上、B＝80～89点、C＝70～79点、D＝70点未満）

不合格（69点以下）の場合は合格点に達するまで再提出する。

また、修了の認定は、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

1. 成績評価は、東京都介護員養成研修事業実施要綱に規定する「各項目の到達目標、評価、内容」の「修了時の評価ポイント」に沿って、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。成績評価で知識・技術等の習得が十分でないと評価された者は必要に応じて補講等を行い、筆記試験より前に到達目標に達するよう支援する。
2. 筆記試験は、第9条に定めるカリキュラムを全て履修した者に対して行う。
3. 修了評価基準は、次のとおり、理解度の高い順にA,B,C,Dの4区分で評価した上で、C以上の評価の受講者を、評価基準を満たしたものとして認定する。評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準(100点を満点とする)

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、D=70点未満